



2021年11月8日

各位

会社名 株式会社 文 溪 堂  
 代表者名 代表取締役社長 水谷 泰三  
 (コード番号 9471 名証第2部)  
 問合せ先 取締役管理本部長 吉田 裕之  
 (TEL 058-398-1111)

## 通期業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）及び 配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、2021年5月14日に公表しました2022年3月期の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、2021年11月8日開催の取締役会において、2021年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を行うことを決議するとともに、2022年3月期の配当予想についても修正することといたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 通期業績予想の修正について

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 13,160	百万円 830	百万円 885	百万円 547	円 銭 87.20
今回修正予想（B）	13,343	1,015	1,069	655	104.18
増減額（B-A）	183	185	184	108	
増減率（%）	1.3	22.2	20.7	19.7	
（ご参考）前期実績 （2021年3月期）	13,049	855	880	151	24.18

2022年3月期通期個別業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 11,760	百万円 894	百万円 934	百万円 596	円 銭 95.01
今回修正予想（B）	11,968	1,102	1,136	732	116.42
増減額（B-A）	208	208	202	136	
増減率（%）	1.7	23.2	21.6	22.8	
（ご参考）前期実績 （2021年3月期）	11,757	990	997	659	105.13

#### 2. 通期業績予想の修正の理由

小学校図書教材では、基礎・基本から活用までの学習内容を確実に評価できる評価教材のテストの実績が増加いたしました。また、前期は新型コロナウイルス感染症の拡大により、季刊物教材等の受注が減少いたしました。回復し実績が増加する見込みであります。

利益面においては、増収に伴うもののほか、小学校図書教材における2020年度の全面改訂費用のうち当期に負担する金額が減少することや、前期に発生した増刷対応の費用が今期減少すること等により、営業利益、経常利益及び当期純利益が前回公表予想値を上回る見込みであります。

以上の結果、上記のとおり通期業績予想を修正いたします。

### 3. 剰余金の配当（中間配当）について

	決定額	直近の配当予想 (2021年5月14日公表)	前期実績 (2021年3月期中間)
基準日	2021年9月30日	同左	2020年9月30日
1株当たり配当金	23円30銭	19円00銭	10円55銭
配当金総額	146百万円	—	66百万円
効力発生日	2021年12月3日	—	2020年12月4日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

### 4. 配当予想の修正について

2022年3月期配当予想

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
前回発表予想 (2021年5月14日発表)	円 銭 —	円 銭 19.00	円 銭 —	円 銭 19.00	円 銭 38.00
今回修正予想	<del>—</del>	<del>—</del>	<del>—</del>	23.30	46.60
当期実績	—	23.30	<del>—</del>	<del>—</del>	<del>—</del>
前期実績 (2021年3月期)	—	10.55	—	31.50	42.05

### 5. 配当政策の基本方針

当社の利益配当につきましては、長期にわたり安定的な経営基盤の確立に努めるとともに、安定した利益配当を継続的に実施することを最重要課題として位置づけており、従来からの安定的な配当を行うことに加え、業績連動型の配当を行うことを方針としております。

具体的には、株主の皆様に対する利益還元をより一層充実させる観点から、文溪堂単体の当期純利益の40%相当額を目処に年間配当金総額を決定しております。なお、利益水準にかかわらず最低年間配当金として、1株当たり7円50銭を目標としております。

### 6. 配当予想の修正の理由

上記の基本方針に基づき、本日公表の通期業績予想を踏まえて、中間配当金につきましては4円30銭増額し、23円30銭とさせていただきます。

また、期末配当金につきましても4円30銭増額し、23円30銭に修正いたします。これにより、年間配当金は1株当たり46円60銭となる見込みであります。

(注) 上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上